

○よくある質問○

当掛にお問い合わせいただく前に、一度この FAQ をお読みください。

～施工実績・配置予定技術者の工事経験等～

Q-1

同種工事の施工実績を証明する資料はCORINSだけで大丈夫ですか？

A-1

申請書に記載されている事項がCORINSに全て記載されている場合、CORINSのみで大丈夫です。

申請書には改修面積〇, 〇〇〇㎡と書かれているのに、CORINSには記載されていない、申請書には〇〇施設と書かれているのに、CORINSには記載されていない、等といった場合、特記仕様書や図面等、記載内容を証明できる資料を合わせて添付してください。特に、改修工事を実績として挙げられる場合、CORINSに「改修延べ面積〇, 〇〇〇㎡」という記載がなく、「延べ面積〇, 〇〇〇㎡」とだけしか記載されていないと、CORINSだけでは実績として認められません。ご注意ください。

Q-2

求める実績の「公共施設」、「学校施設」、「研究施設」とはどのような施設を想定されているのですか？

A-2

本学の認識は以下の通りです。

公共施設・・・国、地方公共団体、独立行政法人等が工事発注者となり建設された施設。

(例：市営住宅、URの公団住宅等も含む。)

学校施設・・・国立・公立・私立の小学校・中学校・高校・大学。

研究施設・・・大学の研究施設、民間の研究所。

【特に注意していただきたい実績】

校舎・・・求める実績として「校舎」を挙げている場合、体育館等の屋内運動場、図書館(図書室を含む)、幼稚園、給食室、食堂、課外活動施設等は実績として認めておりません。

上記の施設を含む学校等の実績を提出する場合、CORINS等に加え、上記施設の面積がわかる資料(面積の内訳表や図面等)を添付してください。上記施設を除いた面積が基準面積を超えていない場合、実績として認められませんのでご注意ください。

Q-3

同一工事で複数棟施工したのですが、この施工実績を提出する場合、複数棟の合算面積を記載しても大丈夫ですか？

A-3

基本的に単一の建物で基準面積以上の工事を行っていることが条件になります。ただし、同一工事かつコの字、ロの字にある複数棟に関しては、例外的に合算面積を実績として認めております。

Q-4

全面的な改修工事とは、改修延べ面積が基準面積以上かつ建物の大部分に手を加えた工事との認識で大丈夫ですか？

A-4

改修延べ面積が基準面積以上で建物の大部分に手を加えていることに加え、工事内容が多岐にわたる改修であることが必要になります。

例えば・・・

防水改修工事、外壁改修工事、照明設備改修工事、空調更新工事、衛生設備改修工事 等の実績では全面的な改修とは認められません。

Q-5

配置予定技術者の従事期間が工期より短いのですが、工事経験として認められますか？

A-5

当該工事の工期の半数以上従事していれば、工事経験として認めます。

Q-6

配置予定技術者を複数人申請したいのですが、可能でしょうか？

A-6

資格及び同種工事の工事経験が条件を満たしているのなら、複数人の申請も認めます。

ただし、経常建設共同企業体で参加する場合、構成員のいずれか 1 社の配置予定技術者に元請としての同種工事の工事経験があれば、外の構成員の配置予定技術者に工事経験がなくても大丈夫です。

Q-7

配置予定技術者に「直接的かつ恒常的な雇用関係」を求められる理由は？

A-7

本学では国土交通省策定の「監理技術者制度運用マニュアル」に則り、配置予定技術者の「直接的かつ恒常的な雇用関係」について確認しております。

建設工事の適正な施工を確保するため、監理技術者等（主任技術者又は監理技術者）については、当該建設業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にある者であることが必要であり、このような雇用関係は、監理技術者資格者証、市区町村が作成する住民税特別徴収税額通知書の写し、健康保険・厚生年金被保険者標準報酬決定通知書の写し、所属会社の雇用証明書の写し又はこれらに準ずる資料に記載された所属建設業者名及び交付日より確認できることが必要です。

※ 詳細については「監理技術者制度運用マニュアル」二-四（監理技術者等の雇用関係）をご確認ください。